

論点2. 第3期統合プロジェクト構成イメージ

()内はR6予算額(億円)/R5課題数

論点例

- ・各PJの目標で不足の点
- ・各PJで重点的に取り組むことが適当な課題
- ・PJ間の関係性、連携
- ・実行に際しての懸念や注意点
- ・DCの役割

文科省	経産省	厚労省
総務省	内閣府	こども

	がん (81/399)	希少 病・ 疾患 (52/193)	成育 (7/41)	ライフコース (108/153) 認知症・精神・神経疾患 (84/34)	生活習慣病・ 老年医学 (17/78)
①医薬品PJ (310/632)	次世代がん 革新がん	難治性 実用化			
②医療機器・ ヘルスケアPJ (113/182)					
③再生・細胞医療・ 遺伝子治療PJ (186/242)	革新がん	難治性 実用化			
④感染症PJ (473/292)					
⑤データ利活用・ ライフコースPJ (188/453)	革新がん	難治性 実用化	成育 女性	精神 障害 慢性痛 認知症	長寿 免アレ 腎疾患 循環器 糖尿病
⑦橋渡し・ 臨床加速化PJ (117/131)					

⑥ シーズ開発・基礎研究PJ

(291/42)

- 革新的先端
- HFSP
- 国際共同
- ASPIRE
- 地球規模保健
- ムーンショット

⑧ イノベーション・エコシステムPJ

(231/6)
※CICLEの課題
数は未集計

- 創薬VE
- AIMGAIN
- CICLE

全てのPJに貢献

※1 革新がん事業、難治性実用化事業は、予算の状況により事業分布は変更となる可能性あり
※2 縦軸の疾患領域についてはAMED内でも最終調整中